

とうかいどうかわさきしゆくきりつ
今年も東海道川崎宿 起立400年！！
様々なイベントや中間灯設置などを行います！

令和5（2023）年に東海道川崎宿起立400年を迎え、地元企業や団体等で構成される「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」を中心に、既に様々な取組がはじまっていますが、改めて今年度の取組等を紹介いたします。

この取組を契機に、川崎の魅力を多くの方に知っていただき、全国から実際に訪れていただくことで、賑わいと回遊性に富む、魅力ある地域資源をいかしたまちづくりを推進し、市制100周年にむけた機運醸成につなげてまいります。

1 東海道川崎宿起立400年に向けたこれまでの取組 ～約20年の歩み～

本市では、平成15（2003）年にまとめられた、東海道川崎宿の歴史や文化に関するまちづくりの市民提案書「東海道川崎宿2023いきいき作戦」に基づき、2023年を目標年次として活動を始め、東海道沿いの街路灯へのフラッグや史跡案内板、浮世絵マンホールの設置などの景観づくりや「東海道川崎宿2023まつり」やウォークイベント、川崎宿が発祥と言われる「三角おむすび」をいかした取組など、地域住民と協働によるまちづくりを進めてきました。



浮世絵マンホール
(川崎信用金庫本店前等7か所)



街道沿い街路灯のフラッグ



東海道川崎宿2023まつり
(令和3年4月)

また、「東海道かわさき宿交流館」を拠点として、川崎の魅力をさらに発信し、「川崎宿」を地域資源としたまちづくりを進めていくため、平成31年3月に「東海道川崎宿起立400年（2023年）に向けた基本的考え方―推進ロードマップ―」を策定し、その取組を着実に進めるため、令和3年2月には、地域の皆様を中心とした「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」を設立、現在100を超える団体等が参画し、この取組を推進しています。

―これまでの主な取組―

- H15（2003）年度 「東海道川崎宿2023いきいき作戦」完成
- H16（2004）年度 史跡案内板の設置
- H18（2006）年度 シャッター浮世絵設置開始
- H22（2010）年度 「東海道川崎宿2023いきいき作戦 第2巻」完成
- H24（2012）年度 浮世絵タペストリー掲出開始
- H25（2013）年度 「歩こう東海道川崎宿スタンプラリー」開催
- 〃 街路灯等へのフラッグ掲出開始
- H26（2014）年度 浮世絵トランスボックス設置
- H27（2015）年度 「東海道川崎宿2023まつり」開始
- 〃 ラッピング自販機、芭蕉句碑への投句箱設置
- H29（2017）年度 浮世絵マンホール設置
- H30（2018）年度 「基本的考え方-推進ロードマップ-」策定
- R2（2020）年度 「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」発足
- 〃 400年記念ロゴマーク作成及び特設サイト開設



東海道かわさき宿交流館

問合せ先

川崎市川崎区役所まちづくり推進部
地域振興課担当 稲垣
電話：044-201-3130
FAX：044-201-3209
E-Mail：61tisin@city.kawasaki.jp

2 地域への愛着や誇りをさらに深めるイベントの実施

(1)「東海道川崎宿場まつり」

川崎宿という歴史的資源を再確認してもらうとともに愛着と誇りを持ってもらい、2023年が川崎宿起立400年であることを広く周知・アピールします。昨年まで行っていた「東海道川崎宿2023まつり」を拡大し名称も一新して実施します。

- ・ 日時 令和5年4月22日（土）10時～17時30分
- ・ 会場 稲毛神社・稲毛公園
- ・ 内容 ステージ（乙女文楽、めでたや節、おむすび音頭等）
出店（各種飲食販売、手作り小物販売等）
- ・ その他 川崎宿起立400年記念式典、三角おむすびレシピコンテスト、ミニ歴史ガイドツアー、体験コーナー等



チラシ

(2)「東海道シンポジウム川崎宿大会」

東海道の歴史・文化・伝統を後世に伝えるため、1988年（昭和63年）から東海道の宿場で毎年持ち回り開催されている東海道シンポジウム。今年は、川崎宿起立400年の川崎で開催します。各宿場関係者に参加を呼びかけるとともに、一般の方も楽しめる大会を実施します。

- ・ 日時 令和5年10月21日（土）13時～16時
- ・ 会場 カルッツかわさきホール
- ・ 内容 基調講演（堀口茉純氏 予定）
パネルディスカッション
～宿場の歴史文化を活かしたまちづくり（仮）～



チラシ

【東海道シンポジウムに前後して実施するイベント】

・ 東海道川崎宿スタンプラリー

例年行っている東海道周辺の歴史・文化を知るスタンプラリーを、川崎宿起立400年を記念して開催します。

令和5年10月7日（土）予定 東海道川崎宿周辺



多くの方に参加いただいたスタンプラリーの様子

・ 多摩川六郷の渡し場エリアでのイベント

東海道を行きかう人々の重要な足となっていた六郷の渡しにちなんだ船の周遊や川辺でのイベント等を予定しています。

令和5年10月22日（日）予定 六郷橋付近



川辺での憩いイメージ

(3) ジオラマ巡回展

東海道川崎宿交流館で展示している川崎宿のジオラマとPRパネルを市内の施設で展示し、川崎宿の歴史と文化を伝えます。

実施予定場所：アトレ川崎コモレピテラス、カルッツかわさき、川崎信用金庫本店、中原図書館、富士通スタジアム川崎等（五十音順 展示時期調整中）



川崎宿ジオラマ



PRパネル例

(4) その他イベント連携や冠事業

例年行われるまつり等のイベントとのタイアップや民間等による「東海道川崎宿起立 400 年記念」冠事業を実施します。

アジアンフェスタ（4月）、川崎大師風鈴市（7月）、山王祭（8月）、いいじゃんかわさき（10月）、川崎市民まつり（11月）、川崎夜市（11月）等

3 東海道沿い街灯への中間灯設置に向けた取組

宿場沿いに、統一感のある行灯のような中間灯を設置して、宿場らしさを彩ります。街行く人に、川崎には宿場があったということ「川崎の魅力」として認識してもらいます。



宿場らしいまちなみの整備推進イメージ



中間灯

4 広報等の取組

(1) 川崎駅自由通路における広告表示（写真は令和5年3月 夏から秋口に再掲出を調整中）



(2) 様々な媒体による周知



←全国展開の月刊誌「歴史人」

記事掲載（3月6日発売）
書店・コンビニ販売中

関東圏展開の月刊誌「江戸楽」→

記事掲載（9月号予定）
川崎特集のみ抜出、賛助企業等や
区内小中学校へ配布予定



※その他、地域情報紙などによる情報発信等

(3) 新たな川崎の魅力発信

「むかしも いまも ひねもす かわさき」
・・・昔も今も、川崎は一日中楽しめる街

今後、川崎で過ごす私の一日をテーマにウェブ展開していきます。

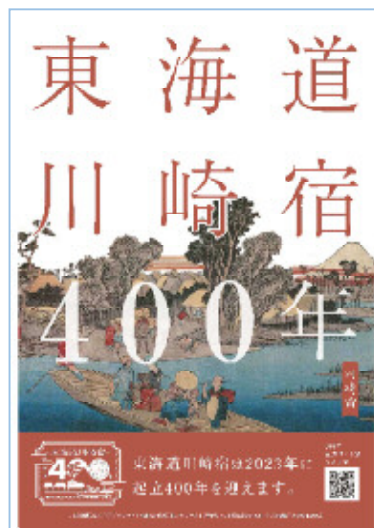
その他、YouTube を活用した川崎宿の紹介等、魅力発信に関する
企画を展開予定

イメージ案（差替予定）



5 「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」組織概要

会長	鬼塚保	
副会長	池田ハルミ	／東海道川崎宿 2023
	石渡稔也	／川崎区中央地区連合町内会
	木村教義	／川崎駅広域商店街連合会
	西井健	／川崎新宿青年会
	三藤哲也	／川崎市中央観光協会
会計	濱舘幸二	／東海道かわさき宿交流館
会計監査	森明弘	／川崎大師観光協会
	吉原弘和	／川崎小学校同窓会
顧問	斎藤文夫	／川崎市観光協会
	草壁悟朗	／川崎商工会議所
事務局	川崎区役所地域振興課	
加盟団体	104団体（3月16日現在）※	



東海道川崎宿
2次元コード  400年ホームページ

6 参考

(1) 東海道とは

東海道は、江戸時代に整備された五街道の一つ。

慶長6（1601）年正月、江戸幕府は東海道の駅制を定め、戦国期の宿駅を母体としつつ、改めて諸駅を設定しました。宿場の大多数はこのときに設置されたものと考えられます。なお川崎宿は53次の中でも最後の方に成立した宿場です。

(2) 川崎宿とは

元和9（1623）年に、東海道の宿場町として設置された宿場町。新宿（しんしゅく）・砂子（いさご）、久根崎（くねざき）・小土呂（ことろ）町の4つの村で構成されていました。川崎大師への参拝ブームも相まって、神奈川県下9宿のうち3番目の旅籠数を誇り、特に川崎宿最大規模の旅籠「万年屋」は米国駐日総領事ハリスが宿泊したことで有名です。



江戸名所図会「河崎万年屋」